

**令和6年度 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟  
要望活動 議事録**

**1 日 時** 令和6年8月1日（木） 11:30～12:10

**2 場 所** 横須賀市役所1号館3階会議室A

**3 要 望 者** 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟

|     |        |        |
|-----|--------|--------|
| 会 長 | 横須賀市長  | 上地 克明  |
| 副会長 | 逗子市長   | 桐ヶ谷 覚  |
| 副会長 | 三浦市長   | 吉田 英男  |
| 副会長 | 葉山町長   | 山梨 崇仁  |
| 副会長 | 鎌倉市副市長 | 千田 勝一郎 |

**4 対 応 者**

|                          |         |
|--------------------------|---------|
| 国土交通省 関東地方整備局横浜国道事務所長    | 宮本久仁彦 様 |
| 神奈川県 横須賀三浦地域県政総合センター所長   | 大場 勇人 様 |
| 神奈川県 県土整備局道路部長           | 池田 一紀 様 |
| 神奈川県 横須賀土木事務所長           | 竹内 章裕 様 |
| 神奈川県 県土整備局道路部道路企画課長      | 宇角 隆司 様 |
| 神奈川県 県土整備局道路部道路管理課長      | 小山 真生 様 |
| 神奈川県 県土整備局道路部道路整備課長      | 神永 裕一 様 |
| 神奈川県道路公社 理事長             | 田中 和久 様 |
| 東日本高速道路株式会社関東支社 副支社長     | 白井 和洋 様 |
| 東日本高速道路株式会社関東支社 京浜管理事務所長 | 飯干 貴彰 様 |
| 東日本高速道路株式会社関東支社 横浜工事事務所長 | 松本 育之 様 |

**5 事 務 局**

|                |       |
|----------------|-------|
| 横須賀市 建設部長      | 藤田 順一 |
| 横須賀市 建設部土木計画課長 | 岩城 光利 |

【横須賀市土木計画課長】要望活動の開始前でございますけれども、一つ確認させていただきます。大変恐縮ですが、報道機関の方がいらっしゃいますので、今年度の要望活動につきましては、活動の更なる充実および円滑な会議運営のため、既にお知らせいたしましたように、取材は要望書の手交と、写真撮影を含む冒頭部分のみでお願いいたします。

これから要望活動が始まりました後、事務局から冒頭部分の終了をご案内いたします。大変恐縮ですが、報道機関の方はご退室をお願いいたします。

なお、今年度は要望活動の議事概要を後日、本期成同盟事務局であります、横須賀市のホームページへ掲載いたします。何卒ご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。以上でございます。

## 6 議事

【横須賀市建設部長】それでは、ただいまから、三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟の要望活動を始めさせていただきます。

私は本日司会進行を務めさせていただきます、本期成同盟幹事長の横須賀市建設部長の藤田でございます。よろしくお願いいたします。

はじめに、本日ご参加いただいている皆様を、改めましてご紹介いたします。まず、本期成同盟の役員です。会長の上地克明 横須賀市長です。

【横須賀市長】よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】副会長の松尾崇 鎌倉市長代理の千田勝一郎 副市長です。

【鎌倉副市長】よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】副会長の桐ヶ谷覚 逗子市長です。

【逗子市長】よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】副会長の吉田英男 三浦市長です。

【三浦市長】よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】副会長の山梨崇仁 葉山町長です。

【葉山町長】よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】続きまして、要望先の皆様です。前列の方のみご紹介させていただきます。

国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長 宮本久仁彦 様。

【国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長】よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター所長 大場勇人 様。

【神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター所長】よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】神奈川県県土整備局道路部長 池田一紀 様。

【神奈川県県土整備局道路部長】 よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】 神奈川県道路公社理事長 田中和久 様。

【神奈川県道路公社理事長】 よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】 東日本高速道路株式会社関東支社副支社長 白井和洋 様。

【東日本高速道路株式会社関東支社副支社長】 よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】 以上でございます。それでは、要望活動に移ります。まず要望書の手交並びに集合写真の撮影を行わせていただきます。事務局がご案内いたしますので、前の風神雷神が描かれている壁側にお集まりいただきたいと思います。では、お願いします。

【横須賀市建設部長】 本日は代表して、上地横須賀市長から国土交通省の宮本様にお渡しする形で集合写真とさせていただきます。それではよろしくお願いいたします。

\*\*\*\*\* 写真撮影 \*\*\*\*\*

【横須賀市建設部長】 大変恐縮でございますが、報道機関の方におかれましては、ここでご退室をお願いいたします。

それでは、お手元の要望書をご覧ください。

まず、本期成同盟役員から、皆様に要望させていただきます。その後、要望先の皆様から関連する事項について、ご所見をいただきます。なお、時間が限られておりますので、要望書前文のご説明は割愛させていただき、要望書見開き右側に記載しております、『要望事項』の6項目のうち、各市町がそれぞれの立場から補足説明させていただきます。

それでは、上地 横須賀市長からお願いいたします。

【横須賀市長】 横須賀市長の上地でございます。

先ほどはお疲れ様でございました。空調も効かずに、不愉快な思いをさせていただきました。総務の方には厳しく言うておきます。ここは涼しくなっておりますので、頭を冷やしながらお聞きいただければと思います。よろしくお願いいたします。

先程、国土交通省横浜国道事務所の宮本所長から圏央道の整備についてご講演いただき、ありがとうございました。併せまして、総会にご列席いただきました、神奈川県、神奈川県道路公社、東日本高速道路株式会社の皆様におかれましても、日頃から幹線道路整備の促進に多大なるお力添えを賜りまして、改めまして厚くお礼を申し上げます。

総会でも触れましたが、元旦に発生した能登半島地震は、半島地域に共通する課題であり、道路ネットワークの脆弱性がもたらす様々な問題を再認識させてくれるものであります。

このような背景もありますので、要望事項は例年に引き続きのものが中心となりますが、その実

現に向けての私の思いはこれまで以上に熱気を帯びていることをご承知おきいただきたいと思います。

それでは、横須賀市からは、要望事項1と4と5について、述べさせていただきます。

まず、要望事項1です。高速横浜環状南線、横浜湘南道路は、県内東西方向の交通渋滞の緩和や、三浦半島地域における企業立地の促進、新たな観光需要の創出など、確実に地域経済に好循環をもたらし、地元商工業を元気にするとともに、災害時の代替路の観点からも非常に重要な道路であります。

令和3年度に就航した東京九州フェリーは、右肩上がりで利用者が増加していき、横須賀港は本格的な物流拠点になりつつあります。今後もドライバー不足や環境負荷軽減などの課題を解消するために、モーダルシフトの広がりによる横須賀港の利用増加が見込まれています。

また、このような情勢を背景に横須賀港では、新たな埠頭の整備も実は検討を進めているところでございます。

そのため、横須賀港へのアクセス道路でもあり、三浦半島の背骨でもある横浜横須賀道路に、圏央道が接続することは、半島に新たな玄関口ができることであり、物流と人流とを飛躍的に活性化するものと大いに期待しております。

三浦半島地域の多くの人や事業者が、一刻も早い接続を待ち望んでおります。様々な制約もあることは承知しておりますが、ぜひとも可及的速やかな早期の整備を、よろしくお願い申し上げます。

次に、要望事項4です。国道357号は令和3年度から予算をつけていただき、交差点改良工事、水路の付替え工事のほか、地質調査を行うなど、特段のご配慮をいただいております。まずお礼を申し上げます。先ほど、小泉先生からお話のあったとおり、私の最初の公約でもありましたので感謝申し上げますと思いますが、引き続きよろしくお願いいたします。

併せて、追浜駅前交通結節点整備事業においても、横須賀の北の拠点である追浜地区の、ひいては、横須賀市全体の経済の活性化に欠かせない社会基盤となります。つきましては、国道357号の都市計画決定区間の早期整備、及び南下延伸区間の早期具体化に向けて、進めていただくようお願い申し上げます。

最後に要望事項5です。現在、横浜横須賀道路の、横須賀パーキングエリア周辺におけるスマートインターチェンジ整備については、横浜横須賀道路へのアクセスが強化され、災害時における道路ネットワークの形成にも寄与するものと大きな期待を持っております。関係者の皆様のご支援によって、東日本高速道路株式会社とも共同で事業推進をさせていただいております。こちらも早期の整備に向けて、引き続きご支援を賜りたく、お願いを申し上げる次第であります。

それぞれのプロジェクトの一刻も早い整備に向け、当然ながら地元自治体として知恵を出し、汗をかき、全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。私からは以上です。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、千田 鎌倉副市長お願いします。

【鎌倉副市長】鎌倉市長代理の千田でございます。

鎌倉市としましては、要望の第1項目であります、高速横浜環状南線、横浜湘南道路の早期整備について特にお願いを申し上げたいと思います。

観光施設が集積する鎌倉地域内におきましては、観光を目的とした来訪車両の他、地域内に目的地を持たない通過交通による慢性的な交通渋滞が発生しており、国土交通省が平成30年に実施した交通調査によりますと、鎌倉地域に流入する車両のうち、約3割は通過交通との結果が示されています。

また、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に引き下げられる中、市内の交通量は新型コロナウイルス感染症の流行前に近い水準に戻りつつあり、依然として交通渋滞が発生している状況です。

一方、地震被害や近年激甚化する異常気象による被害に対する支援物資等の供給道路としての役割など両路線が整備されることによるストック効果の発現が期待をされるところです。

以上のことから、冒頭をお願いを申し上げましたように、高速横浜環状南線、横浜湘南道路の早期整備につきまして、私共もできる努力をしっかりとまいりたいと存じますが、何卒、特段のご尽力賜りますようお願い申し上げます、鎌倉市の要望とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、桐ヶ谷 逗子市長お願いします。

【逗子市長】逗子市長の桐ヶ谷でございます。日ごろから、大変ご協力をいただいておりますこと、感謝申し上げます。

逗子市からは、要望事項の2と3について、引き続きお願いをさせていただきたいと思います。

要望事項の2番の三浦半島中央道路の整備につきましては、昨年度、神奈川県に環境影響調査を実施していただきました。また、今年度は葉山町と共同で地元説明会を予定しているところでございます。実施主体の神奈川県の皆さん、この場をお借りしまして本当に心から感謝を申し上げます。

また逗子市といたしましても、神奈川県そして葉山町と一体となって、本事業の必要性や工事の安全性について、住民の理解をいただけるように努めてまいります。また、地元自治会からは、県道横須賀逗子線の逗子警察署入口交差点と東逗子駅入口交差点では慢性的な交通渋滞が起きておりまして、住民からも改良に向けての要望が挙がってきております。

この三浦半島中央道路の整備の際には、交差点の改良工事を行っていただけるようお願いしてい

るところでございますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

また、次の3につきましては、ネットワーク型 ETC の早期導入、また料金の引き下げをお願いしているところでありますけれども、逗子市といたしまして、一貫してこれまで逗葉新道の無料化を要望させていただいております。

この無料化につきましては、地元からの要望ということもありますし、また、平成 28 年 12 月の議会におきまして、神奈川県、そして神奈川県道路公社に対して、逗葉新道通行料金の無料化を求める意見書というものが出されているところであります。この意見書にもありますように、逗葉新道が有料であるということから、利用者の多くの方が逗子市内の一般道を迂回路として、利用しているということが見受けられまして、これがさらなる交通渋滞を引き起こす一因にもなっていると思われま

す。こうした観点から、市内の交通渋滞解消をするためにも、三浦半島中央道路の整備、そして逗葉新道の早期無料化も併せてお願いを申し上げます。最後に、安全で魅力ある三浦半島の豊かな地域作り、これを実現するためには幹線道路ネットワーク整備の早期実現ということが必須であるという考えでありますので、関係所管の皆様には、特段のご配慮を賜りますようよろしくお願い申し上げます。以上が逗子市からの要望になります。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、吉田 三浦市長お願いします。

【三浦市長】よろしくお願いいたします。

三浦市からは、要望事項 2 と 3 について述べさせていただきます。

まず要望事項 2 でございます。三浦縦貫道路Ⅱ期区間については、林インターチェンジから高円坊までの北側区間約 1.9km が、令和 2 年 8 月 10 日に開通いたしまして、大きく様変わりしております。Ⅱ期区間の未整備区間は約 2.5km となりました。

そして、都市計画道路西海岸線については、小網代湾の自然に配慮するための環境調査や橋梁形式の検討など、順調に進めていただいております。

三浦縦貫道路と西海岸線につきましては、2 路線全線がつながることが重要でありますので、首都圏各都市と三浦市との交通アクセスを飛躍的に向上させますので、ぜひよろしくお願い申し上げます。

三浦市といたしましても、地元調整など連携に努めてまいりますので、今後とも引き続きご尽力をお願いいたします。

次に要望事項 3 でございます。三浦縦貫道路の通行料金につきましては、約 5km に対して割高感がございます。つきましては、利用者の視点に立った料金体系の見直しが必要だと考えておりますので、ぜひ、検討をお願いいたします。いずれにいたしましても、このような幹線道路のネットワ

ークというのは莫大な時間を要します。三浦縦貫道路の第Ⅱ期区間の約1.9kmを開通するだけでも、数十年の時間を要しています。要は、いつ完成するのかという話なんですよ。行政に関わる我々は、道路の延長の難しさや整備の大変さというのはよく理解していますが、市民の方々は、動きはあるにしても、目に見えてこないと完成しないんですよ。一日も早い道路の完成を望んでいます。そういった思いで、一緒に進めていただけたらというふうに思いますので、ぜひよろしくお願い申し上げます。

以上です。ありがとうございました。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、山梨 葉山町長お願いします。

【葉山町長】葉山町長の山梨と申します。

最近では、7月初旬に倒木がありました。令和3年7月には、逗子インターチェンジ入口付近での法面崩壊もありましたが、本当に迅速なご対応をいただいております。その他にも、雪の対策などの災害に向き合う点では、皆様方本当に迅速なご活動と道路警戒等をいただけること心から感謝申し上げます。

葉山町からは要望箇所2と3と6について主にお伝えして参りたいと思います。

先ほど、宮本事務所長からお話がありました、横浜環状南線は私たちの悲願でもあります。最近では、「車離れ」と言われながらも、レンタカー・カーシェアリングの広まりに応じて、車両台数は既にコロナ禍前に戻っておりますし、気軽な車を使った移動というのが私たちの暮らしの変化とともに、我々観光地では、非常に大きな渋滞を引き起こす課題になっていることを痛感しているところでございます。そのため、私たちの日々の生活道路と観光利用を明確に分けるという意味で、横浜環状南線は、ぜひとも整備促進していきたいというところがあります。私が申し上げたい点につきましても、2番の三浦半島中央道路、逗葉新道等についても観光利用等が非常に大きな負担となっていることについて申し上げたいと思います。

先ほど、桐ヶ谷逗子市長がおっしゃっていたように、逗葉新道は、鎌倉市方面に向かう車や、葉山を通じて横須賀市方面に行かれる車の三浦半島の玄関口として非常に大きな交通量があります。通勤通学をはじめ、朝・晩、特に土日の混雑解消には、三浦半島中央道路の北側区間の整備をもって、この混雑・渋滞解消にぜひお力添えをいただきたいと思います。

また、車の利用と同時にスマホアプリ等のナビによって、皆さん（観光客）が生活道路に入ることとだんだんいとわれないような通行をするようになっており、非常に危険を感じることは日々増しているばかりでございます。幹線道路の開通というのは非常に大きな意味を持ちますので、なんとしても要望箇所2の開通をよろしくお願いしたいと思います。

葉山町も地元として、逗子市と連携して説明会等、私達にできることはしっかりと行ってまいりますので、確固たる揺るぎない推進をともにやってまいりたいと思います

そして、逗葉新道ですけれども、ネットワーク型 ETC について進捗があることは既に聞いておりますので、ぜひその推進もよろしくお願いいたします。

また、本町山中有料道路の無料化に伴い、横須賀市へのアクセスも非常に近くなりました。無料というのは何物にも代えがたいところでございます。ぜひ逗葉新道の無料化も悲願であることを改めて申し上げたいと思います。

最後に、要望書には書いておりませんが、道路の安全快適な利用という意味では、葉山町の道路の狭さ・歩道の狭さが長年の課題であります。総会で立憲民主党の早稲田先生もおっしゃっていましたが、電柱を抜いていくこと、もしくは電柱を地中に隠すような、できれば無電柱化というような方針について様々な技術進展もございますので、ぜひ防災・減災のために、ということを一第一に掲げますけれども、無電柱化に向けた促進についてお力添えをいただければと思います。以上でございます。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。以上が本期成同盟からの要望となります。

続きまして、要望について国土交通省、神奈川県、神奈川県道路公社、東日本高速道路株式会社の皆様から、ご所見をお伺いしたいと存じます。はじめに、国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長 宮本様、お願いいたします。

【国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長】横浜国道事務所の宮本です。まず日頃より横浜国道の事業・管理に関しまして、ご理解ご協力を賜っておりますこと、感謝申し上げます。

また、先ほど、総会も各事業者様から圏央道をはじめとする各事業や、熱い期待や地域の実情をお聞かせいただき本当にありがとうございました。道路管理者として事業者としてしっかりと皆様と連携して、一步一步進めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、私の方からは繰り返しになりますが、圏央道、国道 357 号、横須賀スマートの関係について少しお話をさせていただければと思っております。

整備効果等々については、先ほどもご紹介をさせていただきましたので割愛をさせていただきますが、三浦半島地域にとって移動の効率化、観光面でも非常に大きな効果があると思っております。皆様と連携して地域にもたらす効果が最大化されるような取り組みを連携してやっていければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

この事業の進捗についても、先ほど少し説明をさせていただきましたが、NEXCO 東日本の進めているトンネルですが、世界最大級のトンネルを 2 個掘るという非常に高度な工事を、NEXCO 東日本の方でされていることであり、先ほど、説明させていただいた地中接合も後方接続型 1 号機が行っ

たところに後ろから接続するということに関しても、ほぼ世界初の技術ということでもあります。非常に難しい工事でありまして、ゼネコンの皆さんの力を借りながら、この施工者である企業の皆様との力を合わせて、安全で進めていくということでもあります。地中部分での工事が多い分、動きが見つらいお話もあろうかと思います。現場見学・情報発信等を踏まえて、地域の皆様、ご期待いただいている皆様に情報発信をしっかりとしながら進めていければと思っております。1日も早い開通に向けて安全で工事を進めてまいりますので、引き続きよろしくお願いします。

2つ目、東京湾岸道路についてであります。先ほど市長からの事業化当時の熱いお話をお聞かせいただき、身の引き締まる思いであります。現在ご案内のことだと思っておりますが、下水道工事等させていただいているところでもあります。しっかりとそういった準備工事が進めば、本体工事に図っていかれるように、調査設計を着実に推進していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

また、南下延伸部については、とても大切だと思っています。現時点でのアクアラインの状況など考えますと、この先いろんなことが大切だと思っています。周辺道路の状況とか整備状況、そういったものを関係機関の皆さんと連携して検討して進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

横須賀スマートについても、横浜横須賀道路へのアクセス向上、さらには災害時の高速道路のアクセス向上という意味で、とても効果の大きいスマートインターと思っております。国土交通省としても地区協議会を通じて、しっかりと皆様と連携して進めていきたいと思っております。

最後に、追浜バスタについてであります。横須賀市の北の玄関口として、周辺の国道16号の渋滞緩和、さらには周辺地域との具体的開発、魅力ある地域の創出という意味で、非常に大きい事業だと思っております。引き続き、横須賀市、京浜急行電鉄株式会社と連携して着実に進めていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いします。

最後になりますが、地域の皆様としっかりと連携して一つ一つを着実に進めていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いします。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、神奈川県県土整備局道路部長 池田様、お願いいたします。

【神奈川県県土整備局道路部長】神奈川県の池田でございます。よろしくお願いいたします。

まず、日ごろから県の道路行政にご協力いただいていることを、この場をお借りしまして、改めてお礼を申し上げます。また本日は、大変ご熱心なお言葉をいただきまして、身に染みる思いです。ありがとうございました。

私からは、県道路の関係のご要望についてご回答させていただきたいと思っております。何路線かござ

いますので、それぞれに分けてお話させていただきたいと思います。

まず、三浦半島中央道路についてでございます。三浦半島中央道路は北側区間と南側区間がございます。このうち北側区間の約1kmのトンネル区間では、かねてから事業に反対する声がございます。現地調査にも入れないという状況でございました。こうした中、令和3年7月に、葉山町さんのご協力をいただきながら、地元の意向を確認するためのオープンハウス形式の相談会を開催させていただき、改めて地元のご意向を確認することができました。地域の方々からは、事業に賛成する声上がる一方で、地盤沈下や騒音・振動といった生活環境の悪化を懸念する声が寄せられているところでございます。そこでこうした懸念にお応えするために、これまでに地質調査、トンネルの設計、環境調査を行いまして、その進捗状況について周知する広報紙を配布させていただいております。今年度は環境調査の結果を取りまとめまして、秋頃に地元説明会を開催し、トンネル構造が自然環境や生活環境に与える影響について地域の方々に対して、丁寧に説明を行っていく予定でございます。

また、この区間の北側の県道横須賀逗子と交差する逗子警察署入口交差点の改良に向けて検討を進めており、交通管理者との協議が整いましたので、地域の方々に丁寧に説明をし、事業に対するご理解をいただくよう、精力的に取り組んでまいりたいと思っておりますので、引き続きご協力よろしく願いいたします。

続いて、南側区間の未整備となっている、湘南国際村から山科台までの約5kmのうち、湘南国際村から市道坂本芦名線までの約2.6km区間につきましては、これまでに橋梁やトンネルの設計を行っております。この区間では、市道坂本芦名線との交差部が、産業廃棄物最終処分場である、かながわ環境センターの真上を通る計画となっているため、今後の事業着手については、処分場の埋め立てが終了し、道路の整備が可能となる時期を見極めていく必要があると考えております。まずは、中央道については、北側区間の方を先行させて、注力させていただこうと思っておりますのでございます。

次に、三浦縦貫道路Ⅱ期区間についてでございますが、三浦縦貫道路は西海岸線と一体となって三浦市の南北軸を形成し、渋滞の緩和を図り、観光振興など地域の活性化に寄与する大変重要な道路でございます。三浦縦貫道路Ⅱ期区間の約1.9kmは、令和2年度に本線が開通し、林交差点から三浦方向へのオンランプについても令和3年度に開通をしたところでございます。

Ⅱ期の北側区間に続く南側区間については、早期整備を行うことに資するよう、橋梁区間を短くするなど、縦断線形の精査を行っており、交差方法の調整などをさせていただいております。また、橋梁の予備設計や地質調査を同時に行ってまいりました。

今年度は南側区間全体の道路予備設計や地形測量等を行ってまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力よろしく願いいたします。

次に西海岸線については、豊かな自然が残る小網代湾を大規模な橋梁で跨ぐことから、自然環境

の保全と優れた景観の形成に十分に配慮する計画とすることが重要であります。さらに、地域の方々のご理解をしっかりと得ていく必要もございます。

そこで、これまで大気や動植物など、周辺の環境調査を実施するとともに専門家のご意見を伺いながら、橋梁の設計を進めて、昨年度には三浦市さんのご協力をいただきながら、地元説明会や用地測量説明会を開催することができました。今年度は、用地測量を進めているところで、今後土地所有者の皆様に境界立会いをお願いする予定です。順調にいけば、来年度から用地取得に着手したいと考えております。三浦市さんにおきましては、引き続き、地元調整などご協力よろしくお願いいたします。

次に強靱な幹線道路ネットワークと、安全快適に利用できる道路の着実な整備に必要な財源と予算枠拡大というお話をいただきました。本県における道路整備についてですが、財政状況が厳しい中でございますけれども、「かながわのみちづくり計画」に基づき、選択と集中を図りながら進めているところでございます。自動車専用道路のインターチェンジに接続する道路や供用の間近な道路といったところを重点的に取り組んでいくとともに、通学路の安全対策など歩行者が安全に通行できる道路空間の整備に取り組んでおります。

また、昨年水防災戦略を改定いたしました。現在、地震防災戦略の見直しも行われておりまして、道路の防災対策にも積極的に取り組んでまいります。こうした道路整備を推進していくために十分な予算を確保することは、重要なことでございますので、県としても道路整備の効果や必要性をアピールし、国へ強く要望してまいりたいと思っております。

今年5月15日に開催しました、「命と暮らしを守る道づくり全国大会」については、横須賀市長、逗子市長、葉山町長にもご参加いただきまして大変感謝申し上げます。引き続き、頑張ってまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

また、葉山町さんからも無電柱化のお話をいただきました。道路の無電柱化は、防災、安全・円滑な交通の確保、景観の形成といった3つの観点から、重要であると認識しておりまして頑張っているところでございますが、電線の地中化をするには、幅の広い歩道が必要となることから、なかなか葉山町さんのところでの事業には工夫が必要だというような状況になってございます。

こうした中、令和4年には、葉山町さんと勉強会を設けさせていただいて、葉山町の歩道の実態を踏まえた上で、現実にはどのようなことができるかということを検討してまいりました。昨年までの勉強会で、電線管理者にも検討に参加をいただくことができて、葉山町さんが無電柱化を希望されています国道134号の区間のうち、まずは比較的歩道の広い葉山小学校前交差点から葉山町役場入口交差点までの250mの区間について、事業の実現性が確認できたところであります。

今年度の勉強会ではさらに、葉山町役場入口交差点から災害対策本部となる葉山町役場までの町道について、葉山町さんが自ら無電柱化を行うための必要な作業等について検討させていただいているところでございます。引き続き葉山町さんと一緒に勉強会を継続しながら、無電柱化の実現に

ついて検討を深めてまいりたいと思います。最後になりますけども、私どもも至らない点が多々あると思いますが、地元の皆様と一緒に課題を解決しながら、三浦半島地域の活性化のために道路の整備をしっかりと行ってまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、神奈川県道路公社理事長 田中様、お願いいたします。

【神奈川県道路公社理事長】神奈川県道路公社の田中でございます。日頃から神奈川県道路公社の事業にご支援いただきまして大変ありがとうございます。それでは、神奈川県道路公社に関する要望事項につきまして回答いたします。

まずネットワーク型 ETC の早期導入についてでございます。7 月 17 日から三浦縦貫道路において本格導入に向けた最終段階の社会実験を開始しました。1 月 12 日までの実施で安全性を確認し、そのまま連続して、本格導入につなげていきます。課題としましては、使用可能な ETC カードが 2 社のみであることでございます。既に参画の意思を示し、準備しているカード会社もあり、この課題も徐々に解消していくものと考えておりますが、暫くは利用者の皆様にご不便をおかけすることになり、申し訳ありませんが、ご理解下さいますようお願いいたします。

また、逗葉新道への導入についてでございます。現在、設置する機器を工場で製作しています。現在の予定では、9 月頃から料金所への車両検知器、アンテナや電波吸収体などの設置に入ります。その後、それらの機器が正常に作動するかなどの試験や案内表示等の調整を行い、今年度末から、実際の通行状況の中で機器の動作確認等の準備期間を経て、そのまま本格導入につなげていきます。

次に、三浦縦貫道路の料金引下げについてですが、三浦縦貫道路は、計画交通量のもと、料金収入で、建設費用や維持管理費用を賄うということで、国の許可を得て、料金設定をしています。Ⅱ期の北側区間が開通し、交通量は増加したものの計画交通量の 4 割程度であり、収入面では厳しく、引き下げは難しい状況にあります。引き続き、地域と連携した利用促進への取り組みを更に進め、交通量の増加を図ってまいります。

次に、逗葉新道の無料化についてでございます。県は「今後、三浦半島中央道路の北側区間が開通すると、逗葉新道の役割も変わってくると考えられるため、そうした時期を目途に無料化について公社や地元市町との調整に取り組んでいきます。」としており、公社としてもその時点で様々な観点から検討し、県と調整させていただきます。私からの回答は以上でございます。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、東日本高速道路株式会社関東支社 副支社長 白井様、お願いいたします。

【東日本高速道路株式会社関東支社副支社長】NEXCO 東日本の白井でございます。日頃より NEXCO 東日本の高速道路事業にご支援、ご協力を賜りますこと、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

先ほど、各首長様より熱い思いを聞かせていただきました。その中で、弊社に関連する事業につきまして、改めましてその重要性を再認識したところです。皆様と連携しながら頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。それでは、ご要望にありました弊社に関連する事業の具体的な進捗についてご説明させていただきます。

まず、弊社が施工しております横浜環状南線の釜利谷ジャンクションから（仮称）栄インターチェンジ・ジャンクション間におきましては、先ほど横浜国道事務所の宮本所長からご説明がありましたが、工事を全面的に展開しています。補足的にご説明させていただきますと、起点側の釜利谷ジャンクションについては、昨年8月に橋梁工事が完了しております。今年5月には、ランプトンネルが貫通しました。引き続き、残る土工工事を進めてまいりたいと思っております。

続きまして、庄戸トンネルについてです。昨年3月に本線と釜利谷ジャンクションとの分合流部にて、上り線側の掘削が完了しました。現在、下り線側の分合流部や低土被り区間の掘削を進めております。

続きまして、桂台トンネルについてです。上り線側は、一昨年9月に掘進が完了しており、現在下り線側の掘進を進めております。掘進の状況でございますが、全長1,320mのうち、概ね840m程度完了しているところです。

続きまして、公田笠間トンネルについてです。下り線側は、昨年6月に掘進が完了しております。現在、上り線側の本掘進に向けて準備を進めております。その中で、シールド工法にて施工しているトンネルにおきましては、地山の安定性に十分配慮するとともに、騒音・振動など周辺的生活環境への影響も踏まえ、施工時間や掘進速度を調整するなど慎重に進めて参りたいと思っております。今後とも、沿線地域の安全・安心、環境、コストに配慮して工事を進めてまいります。

続きまして、2点目の横浜横須賀道路の横須賀パーキングエリアスマートインターチェンジ整備の支援についてでございます。現在地区協議会に弊社関東支社、横浜工事事務所、京浜管理事務所のメンバーも参画させていただいております。その中で、整備に向けてしっかり意見交換させていただいております。今後とも整備に向けて、引き続き連携しながら進めてまいりたいと思っております。

最後になりますが、弊社としましても、ご要望いただきました事業につきまして、関係機関の皆様と連携しながら頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。以上でございます。

【横須賀市建設部長】皆様ありがとうございました。他に何かございませんでしょうか。

【横須賀市建設部長】それでは本日は、本期成同盟への要望活動にご参加いただきまして誠にあり

がとうございました。今後三浦半島地域の広域幹線道路の整備促進につきまして、更なるご支援を  
くださいますようお願い申し上げます。以上をもちまして、要望活動を終了いたします。ありがと  
うございました。